

# レアブ LEAB

とは 作業性や環境性に優れた中温化アスファルト混合物です。

フォームド発生装置を用いてアスファルトに水を添加し膨張させることで、アスファルトの粘度を一時的に低下させて、混合性を向上させます。施工時にはアスファルト中に分散した微細泡の潤滑効果によって施工性を向上させます。施工後、時間の経過と共に泡は無くなり、通常のアスファルト合材と同じ品質が確保されます。

## レアブ



## LEABの製造～施工イメージ

<p><b>1</b></p>	<p><b>2</b></p>	<p><b>3</b></p>	<p><b>4</b></p>
<p>専用のフォームド発生装置から、多量のマイクロフォームが製造されます。</p>	<p>大きい泡は多量の小さい泡とアスファルトを混合させる働きをして、すぐに消えます。 →混合性の向上</p>	<p>マイクロサイズの微細泡は泡同士が結合・肥大化することもなく、長時間に渡り残存します。</p>	<p>アスファルト混合物の製造温度や施工温度が下がっても、微細泡の働きによって施工性や混合性は良好となります。施工後、泡は消えて通常の舗装と同じ性状となります。</p>

夏は **冷し合材** として

製造温度と締固め開始温度を約 30℃下げます。

早期交通開放



作業環境改善



熱中症対策に

地球環境



合材製造時の CO<sub>2</sub> 排出量を削減

冬は **冬の合材**

遠い現場は **長持ち合材** として

製造温度は同じでも、締め固め可能温度域を広げることが出来ます。

品質向上



温度低下による締固め不足が発生しにくいです

作業性改善



冷めても使いやすく、施工しやすいです



前田道路株式会社

MAEDA